

## 2024年度 公立大学法人大阪第11回役員会議事要旨

日 時：2025年3月26日（水）15時25分～16時10分

場 所：UR森之宮ビル3階 役員会議室

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、重松理事、  
中村理事、帯野理事、藤本理事、藤沢理事(ワライン)、宮部理事(欠席)

監 事：白井監事、前田監事(ワライン)

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、  
富宅医学部・附属病院事務局長、柴山企画総括部長、船野学長室長、石田総務部長、森  
岡企画部長、寺田医学部・附属病院事務局事務部長、片山総務課長

### 【審議事項】

#### 1 2025(令和7)年度予算(案)について

2025(令和7)年度予算(案)について、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 2 研究院の改廃について

担当理事より、研究院の改廃について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・協創コーディネーターやURAの人事評価については、今後の産学官民連携に非常に関係するので、成果を出した者には成果報酬として昇進できるような制度にしていきたい。  
→キャリアアップ制度の人事評価は一体での整備が重要であり、制度設計を進めているところである。

#### 3 工学研究科量子放射線系専攻の学生募集停止について

担当理事より、工学研究科量子放射線系専攻の学生募集停止について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

### 【報告事項】

#### 1 2025年度役員体制について

2025年度役員体制について説明がなされた。

#### 2 2025年度組織改正について

担当理事より、2025年度組織改正について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・大学の教育研究者や知的財産等のアセットについて、どのように持続可能な経済価値を持つものに運用するか、PLではなくBSの財務戦略の活躍を期待する。  
→知財をベースにした基金を設立する等、可能性はあるが体制が整っていない部分もあるので今後検討したい。
- ・有形固定資産売却益を大学の収益にすることについて、法律上の制限はないのか。  
→処分時は出資者である大阪府市に返還する必要があるが、用途の明確な説明を行い、大阪府市の承認を得ることで、大学の財源に充てることは制度的に可能である。少しでも大学

の財源になるよう今後調整していきたい。

- ・工学部について、中百舌鳥キャンパス移転後のスペースをどのように活用するか、ある程度の方針は決定しているのか。  
→来年度からキャンパスのランドデザイン策定を進めていく予定である。

## 【その他事項】

### 1 地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業について

担当理事より、地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業の申請見送りについて報告がなされた。

### 2 非常勤役員からの意見、質問等について

役員間で意見交換を行った。

<主な意見等>

- ・経営審議会での報告事項「入試志願者状況（速報）」について、2月6日発刊の日本経済新聞掲載の志願者数との数値が大幅に異なる。出願締切日と新聞の集計締切日の関係だと考えられるが、今後検証を行う。
- ・国家試験合格者数等の情報共有依頼があり、改めて示すこととした。
- ・経営懇談会議題「健康長寿医科学センター病院開設にあたってのコンセプト等」について、開設後10年間は大阪市から補填があるので、11年後には確実に何らかの形で持続し、大学として実績が上がるような成果を出していただきたい。

## 【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上